

高麗・李朝の 工芸

陶磁器、漆器、金属器

2014年

8月23日〔土〕～10月26日〔日〕

愛知県陶磁美術館

本館1階第1・第2展示室

開館時間

9月30日〔火〕まで：午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

10月1日〔水〕から：午前9時30分～午後4時30分
(入館は午後4時まで)

※8月23日〔土〕は開会式のため、観覧は午前11時より

休館日

毎週月曜日

(ただし9月15日〔月・祝〕と10月13日〔月・祝〕は開館、
9月16日〔火〕と10月14日〔火〕は休館)

観覧料

一般600円(480円) 高校・大学生500円(400円)

中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

※上記料金で常設展示もご観覧いただけます

割引制度 ※リニモ「藤が丘」「愛・地球博記念公園」「陶磁資料館南」「八草」各駅に設置の割引チラシ(リニモ利用者に限る)／リニモ「一日乗車券」／名古屋市交通局「一日乗車券」および「ドニチエコきっぷ」／モリコロパーク駐車場再入場券／名都美術館有料観覧券の半券(2ヶ月以内)を持参の方は観覧料が2割引となります。※チラシ等の割引引換券またはJAF会員証持参の方は観覧料が100円引となります。※身体等に障がいのある方および付添者は手帳を受付にて呈示されますと割引制度が適用(割引要件あり、詳しくは公式WEBサイトをご覧ください)されます。※各割引制度の併用はできません。

監修 伊藤郁太郎氏

(大阪市立東洋陶磁美術館 名誉館長)

河田 貞氏

(奈良国立博物館 名誉館員)

主催 愛知県陶磁美術館／中日新聞社

後援 愛知県教育委員会

愛知高速交通株式会社(リニモ)

 **愛知県陶磁美術館**
セラミウム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

上：「青花秋草文瓜形壺」朝鮮時代 18世紀 個人蔵
中：「黒漆螺鈿花唐草文八角合子」高麗時代 14世紀 個人蔵
下：「青磁彫刻鴛鴦香炉」高麗時代 12～13世紀
大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈／安宅コレクション)
※題字は「高麗版大蔵経」より

Korean Crafts from Koryo and Choson dynasties : Ceramics, Lacquerware and Metalware

割引引換券

100円割引

一般 600円 ▶ 500円 / 高大生 500円 ▶ 400円 / 中学生以下無料

本券1枚につき1名、上記割引料金でご観覧いただけます。他割引との併用はできません。

割引引換券

100円割引

一般 600円 ▶ 500円 / 高大生 500円 ▶ 400円 / 中学生以下無料

本券1枚につき1名、上記割引料金でご観覧いただけます。他割引との併用はできません。

割引引換券

100円割引

一般 600円 ▶ 500円 / 高大生 500円 ▶ 400円 / 中学生以下無料

本券1枚につき1名、上記割引料金でご観覧いただけます。他割引との併用はできません。



高麗・李朝の 工芸

陶磁器、漆器、金属器

朝鮮半島では、高麗王朝(918~1392年)と朝鮮王朝(1392~1910年)の時代に陶磁器や漆器、金属器などの工芸が高度に発達しました。

高麗王朝では、10世紀頃から青磁生産を開始し、11世紀末頃には^{ひしき}青磁と呼ばれる上質の青磁の生産に成功しました。12世紀になると象嵌などの独自の技法が完成し、中国の青磁を凌駕したとも言われる高麗青磁の世界が誕生したのです。

朝鮮王朝(李朝)の時代には、それまでの青磁に代わって白磁が珍重されるようになり、広州に設けられた官窯で優れた白磁や青花白磁、鉄砂白磁などが生産されました。全国各地に地方窯が誕生し、高麗青磁の技術を引き継いだ粉青沙器や粗製の白磁が焼かれましたが、こうした李朝の粗質陶磁の碗が日本では高麗茶碗と呼ばれて珍重されたのです。

本展覧会では、高麗・李朝の時代に生み出された優れた陶磁器を中心に、同時代の漆器や金属器を併せて展覧し、日本人に大きな影響を与えた高麗・李朝の美意識を紹介します。



1. 銀象嵌薄木文高麗時代 13世紀 個人蔵/2. 青磁陰刻蓮花文長頸瓶 高麗時代 12世紀~13世紀前半 愛知県陶磁美術館保管(「独」産業技術総合研究所蔵)/3. 青花龍文壺 朝鮮時代 16世紀後半 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈/安宅コレクション)/4. 粉青落蓋牡丹唐草文梅瓶 朝鮮時代 15世紀 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈/安宅コレクション)/5. 白磁面取八角瓶 朝鮮時代 18世紀前半 個人蔵/6. 辰砂蓮花文壺 朝鮮時代 18世紀 大阪市立東洋陶磁美術館(李乗昌博士寄贈)/7. 粉青鉄絵草花文瓶 朝鮮時代 15世紀後半~16世紀前半 愛知県陶磁美術館(李古秀コレクション)/8. 青磁象嵌花鳥文梅瓶 高麗時代 13世紀 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈/安宅コレクション)/9. 重要文化財 黒漆螺鈿牡丹唐草文経箱 高麗時代 13世紀 北村美術館/10. 華角十長生文箱 朝鮮時代 19世紀 個人蔵

Korean Crafts from Koryo and Choson dynasties : Ceramics, Lacquerware and Metalware

関連イベント(詳細は当館公式WEBサイトをご覧ください)

記念講演会

日時: 8月23日[土] 午後1時30分~4時
会場: 愛知県陶磁美術館 本館・地下講堂

[1]「高麗・李朝の陶磁器」

講師: 伊藤郁太郎氏
(大阪市立東洋陶磁美術館 名誉館長)

[2]「高麗・李朝の工芸 ―加飾技法を中心に―」

講師: 河田 貞氏(奈良国立博物館 名誉館員)

※事前申込不要・入場無料

当館学芸員による展示解説

日時: 8月24日[日]・8月31日[日]・9月6日[土]
9月7日[日]・10月25日[土]・10月26日[日]

いずれも午後1時30分~(1時間程度)

※事前申込不要・参加無料(ただし観覧券が必要)

常設展改修のお知らせ

2014年10月4日[土]本館2階の常設展リニューアルオープン(改修に伴い、9月17日[水]から10月3日[金]まで閉鎖予定)

県民茶室「陶翠庵」特別企画

高麗・李朝風の茶碗を取り揃えます(午後4時オーダーストップ)

次回展覧会(予定)

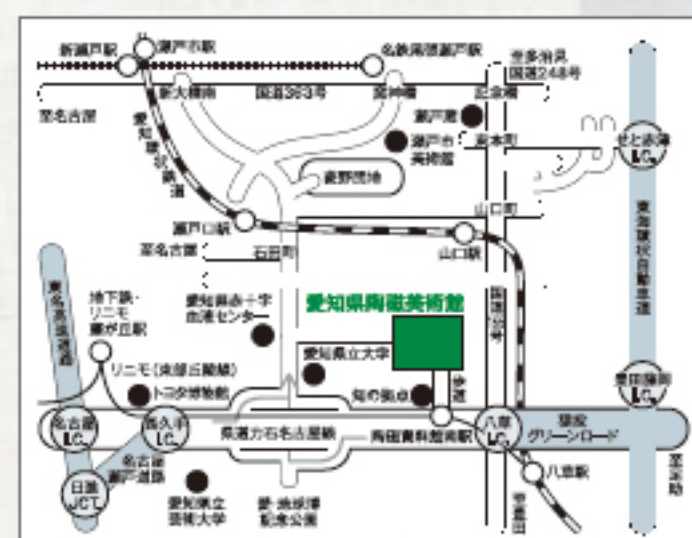
特別企画展 川喜田半泥子物語 ―その芸術的生涯―
11月1日[土]~12月26日[金]

テーマ展示 黒と白のやきものを楽しむ

(主催:愛知中国古陶磁研究会/愛知県陶磁美術館)
11月15日[土]~12月14日[日]

瀬戸市内の展覧会

■瀬戸市美術館 瀬戸市制施行85周年記念・陶祖800年祭記念
瀬戸市・利川市交流展 瀬戸市美術館特別企画展「韓国の古陶磁 ―利川市立博物館収蔵名品展―」10月1日[水]~11月24日[月・振休] TEL:0561-84-1093 ■瀬戸蔵ミュージアム 企画展「せとでん展 ―赤い電車の軌跡―」8月2日[土]~9月28日[日] TEL:0561-97-1190 ■瀬戸市新世紀工芸館 瀬戸クラフト協会設立50周年記念・陶祖800年祭記念 瀬戸市新世紀工芸館企画展「瀬戸のクラフトの系譜 ―昨日、今日、明日へ―」10月11日[土]~2015年1月25日[日] TEL:0561-34-1093 ■瀬戸染付工芸館 企画展「明治・大正・昭和の瀬戸染付」10月1日[水]~12月27日[土] TEL:0561-89-6001



公共交通機関 地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、リニモ「藤が丘」から「八草」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m/名鉄瀬戸線終点「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「菱野団地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・休日のみ)/愛知環状鉄道「八草」下車、リニモ「八草」から「藤が丘」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m 自家用車(駐車場無料・250台収容) 東名高速道路「日進」ICから、名古屋瀬戸道路「長久手IC」から瀬戸方面に約5km/東名高速道路・名二環道「名古屋IC」から瀬戸・豊田・足助方面に約10km/東海環状自動車道「せと赤津IC」から長久手方面に約7km タクシー 地下鉄東山線・リニモ「藤が丘」駅から約20分/名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から約15分

リニモでお出かけください!



とうじっちゃん



愛知県陶磁美術館
セラミウム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL 0561-84-7474 FAX 0561-84-4932
<http://www.pref.aichi.jp/touji>